

北海道新十津川農業高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスクール宣言)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和3年度に重点化する取組及び具体的方策		
「5つの基本方針」	「10の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策
I グローバル教育で人材を育てる学校	①「生徒一人一人を一層成長させる」教育を行います。	①資格取得の積極的な取得を推進するとともに、アグリマイスター顕彰制度を推奨し、資格取得合格率の向上を目指します。 ②専門分会等で専門性を高めます。	B	①資格や農業技術検定合格率向上とアグリマイスター顕彰制度に取り組みます。 ②専門分会活動等、専門性を高める指導を徹底します。
	②「世界と日本をつなぐグローバル」教育を行います。	①郷土の産業の現状と課題を踏まえ、積極的に郷土の活性化を目指します。 ②各教科との連携及び農業教科での基礎学力と英語学習の充実を目指します。	A A	①地域産業における課題解決に向けた取り組みを継続します。 ②掲示物や案内等、英語表記の作成掲示を行います。
II 地域社会・産業に寄与する学校	③「地域農業の生産を支える」教育を行います。	①先進農家の視察や講演、スマート農業技術の学習、GAP学習に積極的に取り組みます。 ②関係機関と連携して「地域のメインクロープ」の実践に取り組みます。	A B	①スマート農業やGAP学習の実演見学及び視察等を実施します。 ②先進作物の栽培研究とメイン作物の技術向上に取り組みます。
	④「地域の農業関連産業に寄与する」教育を行います。	①地域の関連団体及び産業施設と積極的な利用や連携に努めます。 ②関係機関との連携及び生産・加工・販売技術の向上に取り組みます。	B A B	①地域の施設等を活用し、農産物を活用した連携を行います。 ②給食センターへの食材提供を実施します。 ③関係機関との連携による生産・加工・販売学習を実施します。
III 地球環境を守り創造する学校	⑤「地球環境を守り創造する」教育を行います。	①有機JAS、GAP認証を意識して実践学習を実施します。 ②効率的な圃場運営と環境整備の徹底を目指します。	B A	①環境に配慮した農産物の生産に取り組みます。 ②農業機械を有効活用し効率化と省力化に心がけた環境整備を実施します。
	⑥「食農」教育を推進します。	①幼小中との連携による食育学習を実施します。 ②地域の行事や各種イベント等を活用し、町民への食育推進を目指します。	A A	①小学校との連携による農業体験学習を継続実施、中学校との連携による食育学習を実施します。 ②地元農産物の魅力を地域に発信し、健康増進を意識した活動を実施します。
IV 地域交流の拠点となる学校	⑦「地域資源を活用する」教育を行います。	①地域の資源や農産物を積極的に栽培し、生産力、品質の向上を目指します。 ②専門分会を軸に、地元農産物や食材、資源を活用した加工品作り、生産への活用を実施します。	A B	①食用ほおずきの研究、地元の資源を活用した食材研究を継続実施します。 ②金滴酒造、酒米農家との連携による酒米の有効活用の研究を継続実施します。
	⑧「地域交流の拠点となる」教育を行います。	①地域への花壇苗の提供及び花壇造成、ガーデニング作品展示を積極的におこないます。 ②異世代交流や施設訪問等積極的に取り組みます。	A B	①花壇苗生産及び供給の充実と植栽活動を積極的に取り組みます。 ②花フェスタガーデニング作品の展示を実施します。 ③福祉施設との連携による交流活動を充実します。
V 地域防災を推進する学校	⑨「機関・団体と連携した」教育を行います。	①役場産業振興課との連携による農村集落再生事業やスマート農業に協力します。 ②ピンネ農協など各種団体との連携による様々な活動に積極的に取り組みます。	B B	①徳富地区との農村集落再生事業での連携・交流活動を充実します。 ②ピンネ農協をはじめ関係団体と積極的に連携し専門性を一層高めます。
	⑩「地域防災を推進する」教育を行います	①火災、地震等、防災意識の向上と充実を図ります。 (2)危機管理意識の徹底を図ります。	A B	①1日防災学校、避難訓練を実施して防災意識を高める指導を行います。 ②新型コロナウイルス感染症対策等、日常生活のあらゆる場面で危機管理意識を持たせ、更に高める指導を行います。